

【所属名：環境生活課】

【会議名：第1回糸魚川市環境審議会】

会 議 録

作成日 平成26年8月11日

日	平成26年8月4日	時間	13:00 ~ 15:00	場所	糸魚川市民図書館3階会議室
件名	議題 ・糸魚川市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)(案)及び糸魚川市新エネルギービジョン(案)提出意見の集約について ・環境基本計画 PDCA 進行管理について <p style="text-align: right;">(公開)</p>				
出席者	【出席者】 14人 山縣委員 鷺澤委員 田村委員 池亀委員 黒崎委員 古川委員 杉本委員 吉田委員 白沢委員 富井委員 笹川委員 杉野委員 小野委員 山本委員 【欠席者】 1人 本庄委員 【事務局】 吉岡部長、渡辺課長、五十嵐課長補佐、高野係長、川原主査、中田主任主事				
	傍聴者定員		人	傍聴者数	2人

会議要旨

1	開会	進行 渡辺課長
2	副市長あいさつ	織田副市長
3	会長、副会長の選出	会長に山縣耕太郎委員、副会長に鷺澤澄雄委員を選出
4	議事	
	《主な質疑・意見》	
	糸魚川市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)(案) 及び 糸魚川市新エネルギービジョン(案)の、提出意見の集約について	
	事務局案(資料No. 1 - 3)の内容で疑義がなかったため、本審議会では、提出された意見に基づくビジョンの内容修正は行わないこととした。	
	糸魚川市新エネルギービジョン(案) 木質バイオマス導入プロジェクトについて	
	【委員】	市内で木質材料を使った発電を考えるとすることは入れないのか。
	【事務局】	木質バイオマス発電について、今後行っていきたいということで記載をしている。

【委員】 市民にとってストーブを購入する意義を考えるとエネルギーの地産地消を全面に出すならば、購入者が所有している木の間伐を行い、それをペレットにして使用するなど、市民が参画し関心を持ってもらえる仕組みを作ることが必要。目に見える地産地消という形を作っていくのがよいのでは。

【事務局】 市の補助制度では、市内産のペレットを使っていただくことを基本としている。今後オフセットクレジット適用を検討していけたらと思っている。また、糸魚川市の森林所有者に限った制度であるが、木質ペレットの原料となるスギ丸太買い取り制度があるので、その周知に努めたい。

【委員】 糸魚川の特徴は森林の多さである。間伐材を使用した発電所など、エネルギーの地産地消できるような調査を行わないのか。スギだけではなく雑木も活かせるような調査を行わないのか。

【事務局】 調査については、平成 35 年度までにすべての項目について調査をかけていく。

【委員】 バイオマス発電については後半の時期に調査になる予定なのか。

【事務局】 社会情勢や技術革新など情勢が変われば、順序を入れ替えて調査を行っていききたい。

【委員】 新潟県下で、木質バイオマス発電として使える端材がどのくらいあるか調査されている。一定の発電量を見込めるのに必要な間伐材は、現在の整備で出る量では賅えない。ガス化の発電は効率がいいが、設備にコストがかかる。糸魚川エリアだけで取り組むのは厳しいので、上越エリアやその他のエリアを想定して計画を進める方がよいのでは。電力だけではなく、熱利用の検討も必要である。このような状況下ではあるが、市として方向性を検討することは重要であると思う。

【委員】 計画では後半となっているが、県内隣接地域の情報を集めながら検討を進めていくという方向でどうだろうか。

【事務局】 エネルギーの地産地消という観点から考えると、市内の林業生産者から木材を供給いただくルートの作成など課題がある。そこも含めて調査検討していきたい。

【委員】 エネルギー問題として森林を考えているが、本来の環境審議会として糸魚川の自然保護を保全する趣旨で考えるとすると、自然を守るためにどれくらいの間伐を行わなければいけないかという調査、その結果どのくらいの間伐材が毎年恒久的に供給されエネルギーとして活用できるのかという実態をつかまないことには、施設や整備の計画はできないのではないかと。その実態をつかむにあたり、森林組合などとの結びつきや情報の連携はどうなっているか。昨年山林に入って調査などしていたようであるが、市は把握しているか。

【事務局】 森林組合からお話を聞いているが、現在の体制では本来守るべき森林の間伐や整備までは体制的に及んでいない状況であると聞いている。昨年どのような調査をしたかは具体的には分からないが、市と森林組合とで協働して整備事業や地元説明会を行っている。糸魚川市として、林業分野において保護と活用が両立できるよう、市民の皆さまの意見や専門家からの知識もいただきながら今後を考えていきたい。

糸魚川市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)と糸魚川市新エネルギービジョンの策定まで

今回、最後の審議を行った結果を基に「地球温暖化対策実行計画」については当審議会から市長へ答申を行う。「新エネルギービジョン」においても、理事者と調整し策定する。

答申書の内容資料(No. 1 - 1)について疑義がなかったため、後刻答申として調整する。

環境基本計画P D C A進行管理表について

・基本目標 1 自然環境

【委員】 森林間伐面積の今年度の目標値が、前回の審議会で示された数値と違っている。数値を見直した場合は慣例的に「r」のマークがつくはずだが付いていない。数値の記載ミスなのか。「r」のマークの説明について、数値の見直しをしたという趣旨の内容を付記してもらいたい。
今年度の目標値が平成 25 年度実績値並みにならない理由も含めて、説明願いたい。

【事務局】 数値は今年度に入って見直しし変更した。「r」マークが付記されていないのはこちらの記載ミスである。「r」マークの説明について今後記載する。
数値が下がった理由については、担当に確認し会議録送付時に追加説明する。

追加説明 1. 今年度の目標値が変更された理由

前回は見込みの数値を計上していた。現時点で計上し直した結果、今回の数値となった。また、現状で間伐を行える箇所を計上した。

2. 今年度目標値が平成 25 年度実績値より下がった理由

平成 25 年度は、国の治山事業が大幅増となったことにより、実績全体が大幅増となっている。しかし、平成 25 年度の実績から下がっていると見えるが、内容としては上昇傾向にある。また、間伐のうち、利用間伐の目標は伸びている。

【委員】 小中学校の副読本が新しくなり、ジオパークの内容も地質の説明だけでなく、郷土の歴史、伝統、文化も含め非常にわかりやすく解説された内容である。この冊子について、子供達だけではなく広く市民が読めるように、図書館での設置や市販などしてもらいたい。市民一人一人がジオパークを知ってもらえるよい内容である。

【事務局】 市で作成し配布している資料などについて、作成部数により市販できないものもあるが、今後、市販等の対応できるものについて検討してもらうよう、担当課にご意見を伝えていきたい。

5 その他

今年度の環境審議会は、今回を含めて2回を予定している。

平成25年度版系魚川市の環境を作成したので、ご覧いただきたい。

6 閉会 鷲澤副会長